

# ヤマトヒメメダカカッコウムシ コウチュウ目カッコウムシ科

*Neohydnus hozumii* Nakane

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

## 選定理由

護岸工事や宅地開発等にもなうヨシ原の減少や消失により、ヨシ原に固有に生息する本種もまた減少傾向にある。

## 形態

体長5.0~6.0mmで、前胸の色彩には褐色型と黒色型があるが、県内で見られる個体は大部分が黒色型である。上翅には1対の黒色斑紋があるが、その大きさや形には変異がある。

## 国内分布

本州、四国および九州に局所的に分布する。2003年には青森県から記録されており、同県が分布の北限となっている。日本固有種。

## 県内分布

加賀市、小松市、金沢市および七尾市で局所的に確認されている。

## 生態

成虫は6月頃に出現し、飛翔と歩行を交えて俊敏に動き回る。他の小さな昆虫類を捕食すると考えられている。ヨシ原に固有に生息するが、幼虫期についての詳細な生態はわかっていない。

## 生息地の条件

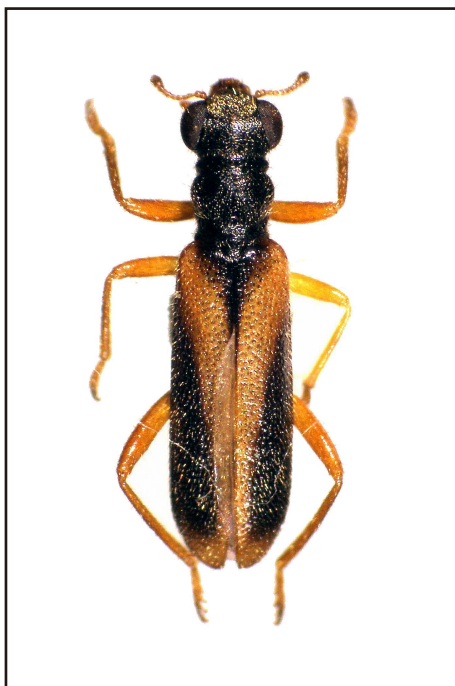
ヨシ原があること。

## 生存の危機

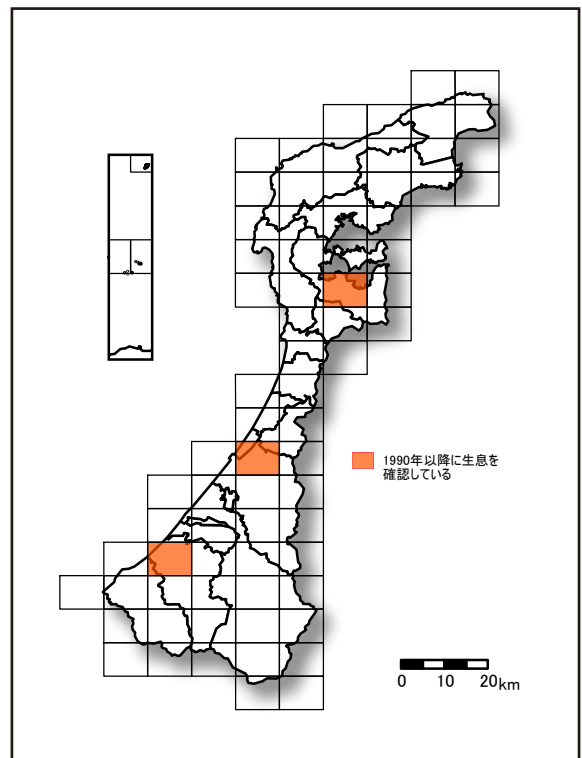
護岸工事、干拓事業や宅地開発等によるヨシ原の減少や消失が、本種の生息に大きな打撃を与えている。ヨシ原の開発は全国的に行われており、本種の個体数もまた全国的に減少傾向にある。(A)

## 参考文献

吉道俊一 2006. 石川県におけるヤマトヒメメダカカッコウムシ（ホヅミカッコウムシ）事情. とくくりぱち, (73) : 1-5. 石川むしの会.



標本提供者: 吉道俊一



県内の分布